

平成 27 年 1 月 6 日

～九州経済の活性化を積極的に支援～ 『NCB九州活性化ファンド』の設立について

西日本シティ銀行（頭取 谷川 浩道、以下「当行」という。）は、株式会社地域経済活性化支援機構（社長 瀬谷 俊雄、以下「REVIC」という。）、株式会社日本政策投資銀行（社長 橋本 徹、以下「DBJ」という。）及び株式会社ドーガン（社長 森 大介、以下「DGN」という。）と共同で、九州経済の活性化に資する地場企業を対象に、事業基盤の改善・強化から成長・拡大及び事業承継までを一貫して支援することを目的として、平成 27 年 1 月末を目途に、「NCB 九州活性化ファンド」（以下「本ファンド」という。）を組成することを予定しております。それに先立ち、本ファンドの運営を担う NCB キャピタル株式会社（以下「当社」という。）を設立いたしました。

本ファンドは、平成 26 年 6 月に公表された『日本再興戦略』改訂 2014－未来への挑戦－のアクションプランに基づき、地域経済の活性化、雇用の創出に資する地場企業の方を支援することを目的に設立するものです。

今後の成長に向かう確かな事業性を有するあらゆるステージにある九州の大手・中堅企業に対し、事業基盤の改善・強化や一層の拡大・成長及び事業承継を支援するため、資本であるエクイティ、優先株や劣後ローンなどのメザニンファイナンス等多様な金融サービスを組み合わせ、また、REVIC の持つ専門家派遣機能を活用した経営支援等にも注力する新しいプロジェクトとなります。

わが国経済は、緩やかに回復しつつありますが、地域経済は少子高齢化や都市部への人口移動により経済の担い手が減少しており、地域経済の持続的な発展・雇用の創出を図る「地方創生」は、九州地域においても重要なテーマとなっています。地場企業は、人口減少に伴う市場の縮小に加えて大企業の地方進出に伴う競合激化・事業の後継者不足等の課題にも直面しており、今後事業再構築・企業再編・事業の円滑な承継等の抜本的な対策を行うための財務基盤の強化・資本政策の再構成を必要としている企業が多数存在しています。本ファンドは、このようなニーズを有する九州地域の企業に一層の成長支援を行うものです。

本ファンドは、地域金融機関として九州地域に強固な顧客基盤を有する当行を中心として、先進的なファイナンス実績を有する DBJ、専門家派遣機能等の経営支援能力を有する REVIC 及び九州地域において様々なソリューション提供を行ってきた DGN が協働して当社の運営に携わり、より高度かつ効果的なソリューションを提供することで、地場企業の成長に向けた取り組み等を幅広く支援することで、九州経済の活性化に幅広い貢献ができるものと考えております。

当行は、地域金融機関として、このファンドを通じて地域経済の活性化を積極的に支援してまいります。

【運営会社（GP：General Partner）の概要】

名称	NCB キャピタル株式会社
設立日	平成 27 年 1 月 5 日
株主	株式会社西日本シティ銀行 株式会社地域経済活性化支援機構 株式会社日本政策投資銀行 株式会社ドーガン
代表取締役	古賀恭介(株式会社 NCB リサーチ&コンサルティング代表取締役)

【ファンドの概要（予定）】

名称	NCB 九州活性化投資事業有限責任組合
設立予定日	平成 27 年 1 月末日
ファンド総額	50 億円
無限責任組合員 (GP：General Partner)	NCB キャピタル株式会社
有限責任組合員 (LP：Limited Partner)	株式会社西日本シティ銀行 株式会社地域経済活性化支援機構 株式会社日本政策投資銀行
存続期間	7 年間

【ファンドスキーム図】

